

研究課題 (テーマ)	ものづくり研修会・競技大会 in パステル工房		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	知能デザイン	教授	前田 幸男
	教養教育	准教授	上谷 保裕
	機械システム	教授	川上 崇
	機械システム	講師	宮本 泰行
	知能デザイン	講師	岩井 学
	知能デザイン	助教	本吉 達郎
	情報システム	講師	中田 崇行
	生物	教授	加藤 康夫
	環境	講師	手計 太一
研究結果の概要			
<p>1) ものづくり研修会</p> <p>卒業・修士論文研究や共同研究で自ら技能の習得を希望する学生を主な対象に、3日間の短期研修会を2回実施(前期8月31日～9月2日、後期7日～9日)した。研修会は、機械製作実習を履修している学生と履修していない学生を広く募集するため、以下の2コースを開講したが、Bコースについても履修した学生が応募した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Aコース：NC旋盤(CAMソフト)・汎用旋盤・フライス盤 (機械システム/知能デザイン/情報システム工学科学生/教員) 参加者 12(前)+13(後)=25名</li> <li>・Bコース：ボール盤・コンターマシン・高速切断機・放電加工機 (機械システム/知能デザイン/情報システム工学科学生) 参加者 6(前)+0(後)=6名</li> </ul> <p>研修会参加者31名から8項目のアンケートを回収した結果、「満足」が74～93%、「やや満足」が7～19%、「少し不満」が0～7%、「不満」が0%であった。「少し不満」は、猛暑の影響で暑いとの指摘がほとんどであった。研修会に限らず、安全面からも空調設備の整備に取り組む必要がある。プラスの意見としては、1、2年の機械製作実習の復習ができ、理解も深まったなどであった。技能習得の契機を提供できたものと思われる。また、本年度は知能デザイン工学科3年生(2名)の参加があった。</p> <p>2) ものづくりコンテスト</p> <p>コンテストは、ものづくり研修会参加者から6名が参加し、大学祭の初日(10月22日(土))に実施した。研修会に合わせて2コースを準備し、与えられた課題に対し、時間内に解決する応用力を減点方式で競技した。本年度はBコース参加者がなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Aコース：スライス加工：部品図を基に、角素材に雄部品(凸部)と雌部品(凹部)を作り、それらを嵌めあわせることのできる正確さを審査 CAMソフト作成とNC旋盤加工：部品図を基にCAMプログラムを作成し、NC旋盤にて部品を加工する応用力を審査</li> <li>・Bコース：放電加工：Gコード表に基づき、課題作品(ペンダント)の加工 プログラムの作成し、作品の製作および作品およびプログラムの完成度、応用能力を審査</li> </ul> <p>本プログラムでは、ものづくりの基礎的技能的習得を行い、その技能を高め、研究活動に活かす事を目的に行われ、所定の成果を得ることができた。</p>			
今後の展開			
ものづくりコンテスト参加希望の学生が多いことから、これに応えるべく、フライス盤を整備し、現在Aコースのコンテスト参加枠を6名から8名に増員することを検討する。			